

公益社団法人 日本女子体育連盟
＜令和6年度 総会＞
— 議事録 —

日 時：令和6年 6月 9日（日）13：30～16：30

会 場：Web 会議及び書面表決

オンライン(Zoom)/国立オリンピック記念青少年総合センター（センター棟 301）

1. 開会宣言

宮本乙女副会長より開会宣言が行われた。

2. あいさつ

細川江利子会長より、挨拶として、本日のオンラインでのご出席や日頃からの協力に対する謝辞、本日の内容に関する説明があった。

また、顧問・参与よりお一人ずつご挨拶いただいた。

3. 出席者および書記の確認

議決数（正会員＜加盟団体代表＞12 団体、特別会員 22 名）、書面表決（正会員＜加盟団体代表＞4 団体、特別会員 19 名）、委任状（正会員＜加盟団体代表＞8 団体、特別会員 87 名）合わせて計 152 名となり、定款 16 条の規定に基づき、現数 278 名の 2 分の 1 以上の総数が認められたため、総会が成立する事が確認された。

・出席した理事（15 名）：

細川江利子（戸籍上の氏名：鈴木江利子）、宮本乙女、佐藤廣子、飯田路佳、寺山由美（戸籍上の氏名：高松由美）、田中安理、田巻以津香、高野美和子（戸籍上の氏名：小林美和子）、多田五月、田中葵、長谷川千里、渡辺碧（戸籍上の氏名：山田碧）、高田晶子、熊谷佳代、坂下玲子

・出席した監事（2 名）；茅野理子，佐分利育代

・出席実数：顧問 2 名、参与 1 名、監事 2 名、正会員 12 団体、特別会員 22 名、計 39 名

・書記：高橋うらら特別会員・田巻以津香常務理事

4. 議事録署名人の選出

細川江利子会長、高田晶子正会員（加盟団体代表）、長谷川千里特別会員が選出され承認された。

5. 議長の選出 細川江利子会長

6. 議 題

(1) 報告事項

1) 会長報告（要項 pp. 1-2）

細川江利子会長より、資料の通り報告がなされた。

2) 代表理事及び業務執行理事による自己の職務の執行の状況報告

代表理事及び業務執行理事より、資料の通り職務執行の状況報告があった。

3) 令和6年度事業計画（要項 pp. 4-11）

細川江利子会長より、資料の通り報告がなされた。

「1. 内外の女子体育に関する研究及び研究大会の開催」

・ 1. 1) 関連研究プロジェクトは2024年度を最終年度とし3年計画で進行中であり、連盟創立70周年記念 第57回全国女子体育研究大会（東京）／JAPEW SUMMER SEMINAR 2024にて成果発表の予定であることが報告された。

・ 1. 2) 加盟団体との共同研究については、これまでの多くの場合は全国大会開催県との共同研究であるが第57回大会はJAPEW開催となるため、継続無しとなっている。また、新規の申請が現時点で無く、引き続き申請を受け付けている旨、説明がなされた。

「2. 女子体育に関する講習会及び育成事業」

・ 2. 1) サマーセミナーは、前項の通り、連盟創立70周年記念 第57回全国女子体育研究大会（東京）／JAPEW SUMMER SEMINAR 2024として開催が予定されていることが報告された。

・ 2. 2) JAPEW 未来世代の研究発表会の実施日時が示され対面での実施計画が報告された。

・ 2. 3) 第18回 JAPEW ダンスムーブメントセミナー2024は山梨県において開催予定であることが説明された。

・ 2. 4) JAPEW ダンスムーブメント指導員養成事業・資格認定事業について、資料の通り報告がなされ、新規に2025年度D級新設に向けて準備を進めている旨、報告された。

「3. 機関誌その他の学術刊行物の発行」

・ 3. 1) 『女子体育』編集発行について、例年通りの発行予定であり、さらにテーマや表紙等の説明がなされた。

・ 3. 2) 学術研究の発行について例年通りの発行である旨報告された。

「4. 関係諸団体との連携及び国際的な研究交流の推進」

・ 4. 1) 全日本高校・大学ダンスフェスティバル（神戸）について、実施日時と開催概要が説明された。コロナ禍以前の通常の形に近いかたちでの開催を予定している。今年度も様々工夫を施した上で開催予定であることが報告された。

・ 4. 2) 国際的な研究交流事業 について、今年度のワークショップの実施日時、招聘講師について説明があった。

「5. 研究の奨励及び研究業績の表彰」

・ 5. 1) 「JAPEW 賞」顕彰について、各受賞者候補を今後選考していくことが報告された。

「6. その他」

・ 広報・普及活動について、本連盟の活動をより広く発信するためのHP、ソーシャルメディアの活用について報告がなされた。

4) 令和6年度事業予算（要項 pp. 12-13）

宮本乙女副会長（会計担当）より、資料の通り説明された。

・ 今後の課題として、各部門で支出削減に努めているが、これ以上の支出削減が難しい状況になっている。加えて70周年記念大会もあり、支出の増加が見込まれる。したがって収入の増加に努めなければならない。との説明がなされた。

5) 会員の加盟状況（要項 p. 14）

細川江利子会長より、令和5年度の加盟状況について資料の通り報告された。

・ 令和6年度からの代表交代について、資料掲載以外に、鳥取県女子体育連盟は遠田佳代子代表から寺澤ゆかり代表に、広島県女子体育連盟は矢野下美智子代表から高田康史代表に徳島県女子体育連盟は佐伯美千代代表から二宮あゆみ代表に交代する旨、加えて報告があった。

6) 理事の定数について（資料なし）

細川江利子会長より本田眞弓理事ご逝去にともない現在理事18名となったが、定款第21条が定める理事数を満たしているため、残る1年間で18名で勤めていくことが5月開催の理事会で承認された旨、報告があった。

7) その他 (資料 p15, p16, p17, p18)

- ・田巻以津香常務理事より、『女子体育』購買数等推移について資料の通り報告がなされた。
- ・田中安理常務理事より、JAPEW ダンスムーブメント指導員について資料の通り報告がなされた。ライセンス有資格者が減少傾向である為、新規の受験者獲得に向けてPRを強化するとともに、D級の新設を検討していることが報告された。
- ・渡辺碧理事より、第36回全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸)について、資料の通り報告がなされた。
- ・田中安理常務理事より、連盟創立70周年記念 第57回全国女子体育研究大会/JAPEW SUMMER SEMINAR 2024について開催日程、内容の概要について説明があった。また、細川江利子会長からテーマについて、とくに「共生社会に向けて」ということを中心に据えて取り組んでいくことが加えて説明された。
- ・田中葵理事より、インターナショナル・ダンス・ワークショップについてチラシデータをもとに実施日時、招聘講師について説明がなされた。またワークショップ参加者は特別価格で70周年記念大会への参加が可能であることが説明された。
- ・山梨県女子体育連盟 岡部和子代表より、JAPEW ダンスムーブメントセミナー in 山梨について、チラシデータをもとに実施日時、会場について説明があった。
- ・愛知県女子体育連盟 加藤房枝代表から、70周年記念大会について、動画配信なども検討いただきたいとの要望があった。これに対して、細川江利子会長より、動画配信について検討を重ねたが、予算資源、人的資源の不足から断念せざるを得ない結果となった旨、回答があった。

※以上の報告後10分間の休憩となり、再開冒頭で、令和5年度の事業内容についての動画(広報普及委員会作成)が上映された。

(2) 審議事項

第1号議案 令和5年度事業報告(案)について (要項 pp20-28)

細川江利子会長より、資料に沿って報告がなされた。

「1. 内外の女子体育に関する研究及び研究大会の開催」

- ・1) 関連研究プロジェクトについて、資料にある観点①は連盟創立70周年記念 第57回全国女子体育研究大会(東京)/JAPEW SUMMER SEMINAR2024の生涯スポーツ分科会で、観点②は同大会の学校体育分科会にて成果発表予定との旨、報告があった。
- ・2) 加盟団体との共同研究について、愛媛県女子体育連盟との共同研究内容が報告された。
- ・3) 全国女子体育研究大会/第56回全国女子体育研究大会(愛媛大会)について、報告された。

「2. 女子体育に関する講習会及び育成事業」

- ・2.1) サマーセミナー JAPEW SUMMER SEMINAR 2023-令和5年度夏期講座-について、報告があった。特筆すべき点として、開催1日目の午前、生涯スポーツコース、学校体育コース合同で、松本千代榮先生追悼企画として、基調講演およびシンポジウムを開催した旨、報告があった。また、遠方からの参加者獲得のために「動画視聴コース」が一定の結果を出していることの報告があった。
- ・2.2) JAPEW 未来世代の研究発表会について、大学の垣根を越えて活発な交流があったことが報告された。
- ・2.3) 第17回 JAPEW ダンスムーブメントセミナー2023 with JAPEWについて、一日講習(実技のみ)の新しい形での実施となったことが報告された。
- ・2.4) JAPEW ダンスムーブメント指導員養成事業・資格認定事業について、報告がなされた。

「3. 機関誌その他の学術刊行物の発行」

- ・3.1) 『女子体育』編集発行について報告があった。
- ・3.2) 『(公社)日本女子体育連盟 学術研究』の発行について報告があった。

「4. 関係諸団体との連携及び国際的な研究交流の推進」

・4.1) 第35回全日本高校・大学ダンスフェスティバル（神戸）について、開催報告があった。特筆すべき点として、対面での開会式やOBOGのボランティアメンバーによるAJDFサポーターズ倶楽部の復活などがあげられた。

・4.2) 国際的な研究交流事業 について、報告があった。

「5. 研究の奨励及び研究業績の表彰」

・5.1) 「JAPEW 賞」顕彰について、報告があった。

「6. 広報・普及活動」

・6.1) ITによる広報・普及活動 2) その他の活動について、報告があった。

※以上の報告後、第1号議案について賛成多数で承認された。

第2号議案 令和5年度決算報告（案）について（別冊子:決算報告書）

宮本乙女副会長より、別冊子「決算報告書」に沿って令和5年度決算の説明がなされた。特筆すべき点として、コロナ禍で中止となった国際会議の積立資産を取り崩し、事業費に充てることとしたが、これにより、公益認定基準上の収入額が増え、公益認定基準3つの内2つ（「収支相償」と「遊休財産保有制限」）が「不適合」となってしまう結果となった。今後、公益認定基準に適合するよう是正していくように努力する旨、説明があった。

続いて、佐分利育代監事より監査報告書に沿って、監査報告がなされた。

※以上の報告後、第2号議案について、賛成多数で承認された。

第3号議案 正会員費特別措置（案）について（p.29）

細川江利子会長より正会員費特別措置について説明がなされた。

採決の前に、岡山県女子体育連盟の安江美保代表より、今後の正会員費について、質問があり、正会員費の価格設定等、検討中である旨、細川江利子会長より説明があった。

※以上の説明後、第3号議案について、賛成多数で承認された。

第4号議案 定款の変更（案）について（p.30）

宮本乙女副会長より資料に沿って、定款第50条『公告の方法』について変更案が示され、説明があった。

※以上の説明後、第4号議案について、2/3以上の賛成で承認された。

（3）その他

- ・寺山由美常務理事より、AJDF-Kobeの資金援助として、文字広告、ふるさと納税について説明とお願いがあった。
- ・宮本乙女副会長から、70周年記念大会について、文字広告、寄附金等、協力要請があった。
- ・愛知県女子体育連盟の加藤房枝代表より、活動を支えてくださるスポンサー獲得の情報提供の要請があった。
- ・村田芳子顧問より、各県や本部がお互いに協力し合い、情報交換し、お互い助け合えるようなネットワークづくりをし、活動を盛り上げてほしいと激励のお言葉があった。

7. 議事録確認

書記（高橋うらら特別会員）より、本日の議題についての議事録の確認があった。

- ・最後に、本村清人顧問より、財源の確保や協賛事業の拡大について、アドバイスがあった。

続いて、林眞幾子参与、佐分利育代監事、茅野理子監事から励ましのお言葉があった。

8. 閉会宣言

佐藤廣子副会長より閉会宣言がなされた。

以上の議事を明確にするためこの議事録を作成し、会長と署名人が次に記名押印する。

令和 6年 6月 9日

議 長	会 長	細川 江利子
署名人	埼玉県女子体育連盟 代表 高田 晶子	
	特別会員	長谷川 千里